

コロナに負けない健康な村づくりと 農業リハビリテーション

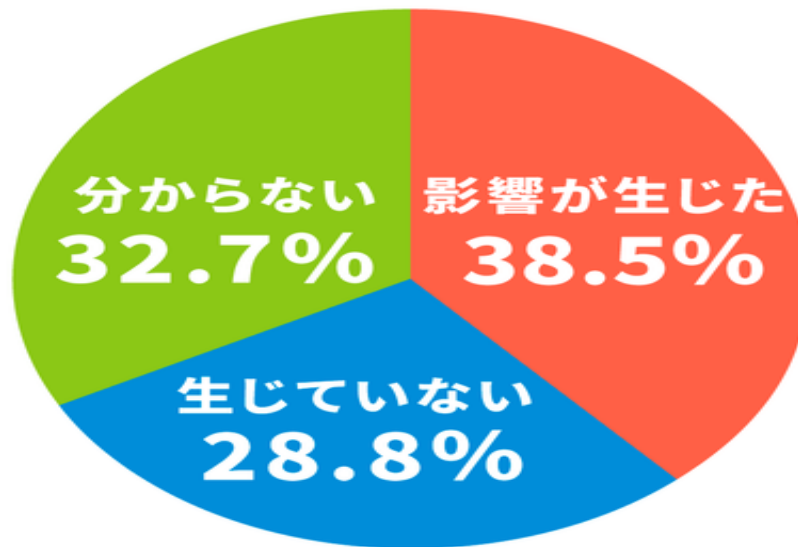


遊農くらぶ メンバー募集開始します

はじめに コロナ禍で認知症が重症化

コロナ禍は認知症の人にさまざまな悪影響を及ぼしたとされています。広島大学は、認知症の人に対するコロナ禍の影響を調査しました。その結果によると、施設に入所している認知症の人のうち、**38.5%に「影響が生じた」と回答しています**

コロナ禍で認知症の人に 影響が出た割合



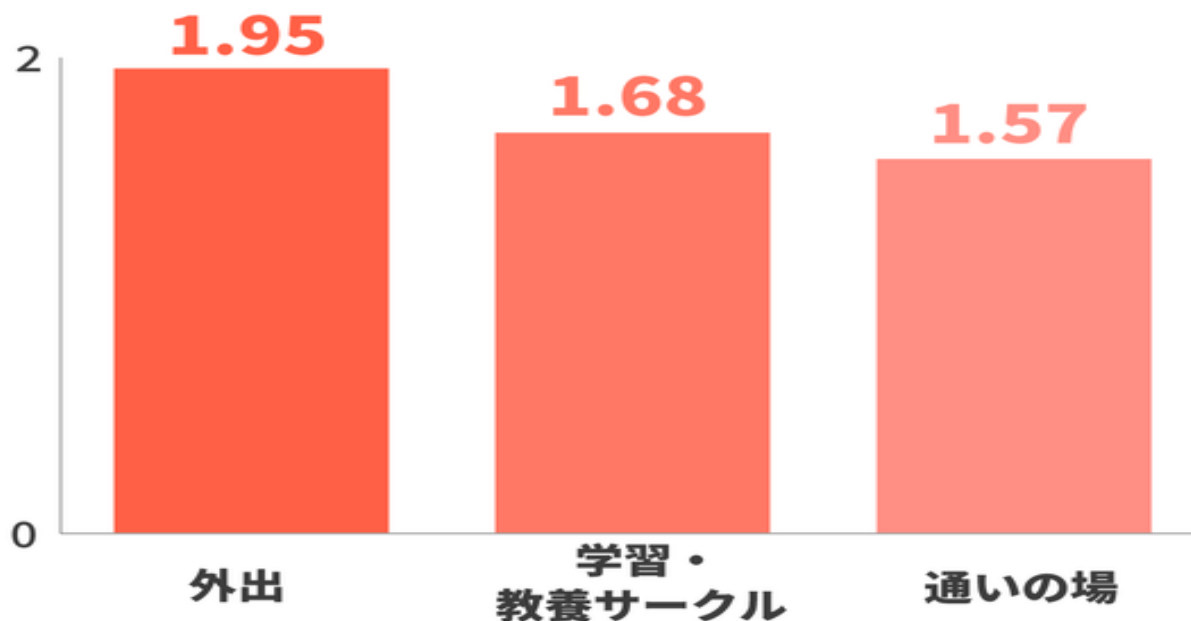
「ADL(日常生活動作)の低下」「認知機能の低下」「行動心理症状の出現・悪化」は、**在宅介護・施設入所などの状況にかかわらず、幅広く見られています。**

中でも、「認知機能の低下」は在宅の重度認知症の人に強く見られており、67.3%にまで及んでいます。また、「身体活動量の低下」や「歩行機能の低下・転倒」といった身体面へも悪影響を与えていることがわかりました。

出典：『新型コロナウイルス感染症流行下で起こったことと認知症予防』（広島大学）

また、コロナ禍による身体活動の低下は、フレイルなどのリスクも高めます。フレイル状態と軽度認知障がいが組み合わさると、認知症が進行しやすい状態になるとされています。このように身体活動の低下は、複合的な悪影響を与え、要支援・要介護の状態になりやすいのです。日本医療研究開発機構の調査によると、特定の活動頻度が低下した場合の要支援・要介護リスクは「外出」で1.95倍、「学習・教養サークル」で1.68倍、「通いの場」で1.57倍となっています

身体活動の低下で要介護状態になるリスク



出典：『新型コロナウイルス感染症流行下で起こったことと認知症予防』（広島大学）



遊農くらぶ ～昔取った杵柄で遊ぼう～



お問い合わせ



080-8955-5084
098-935-2277



yunokurabu@agape-
wakamatsu.or.jp



医療法人アガペ会
農業リハビリ担当
泰（やす）宮里・稲垣

遊農くらぶ@とは

私たちは～

コロナ禍で外出制限が続き、体の健康や心の健康も悪くなっているという報告があります。私たちは昔から傍にあった「農作業」を活かして健康を取り戻す活動を行います。
＊休眠預金活用事業です

活動：島の季節の野菜を育てます
土にふれつつ、体を動かします

参加費：無料 休眠預金で負担します

送迎：介護タクシーで無料送迎

場所：宜野湾市 元ハッピーモア跡の畑

定員：10名程度（送迎なしは別枠）

期間：2023年4月～2025年2月

火曜 木曜 午後2時～4時
（基本雨天や祝祭日はお休み）

「生まれ島で野菜を育て・収穫し・分かち合いを通じますます
元気になろう」





農業リハの目的: **コロナに負けない!**

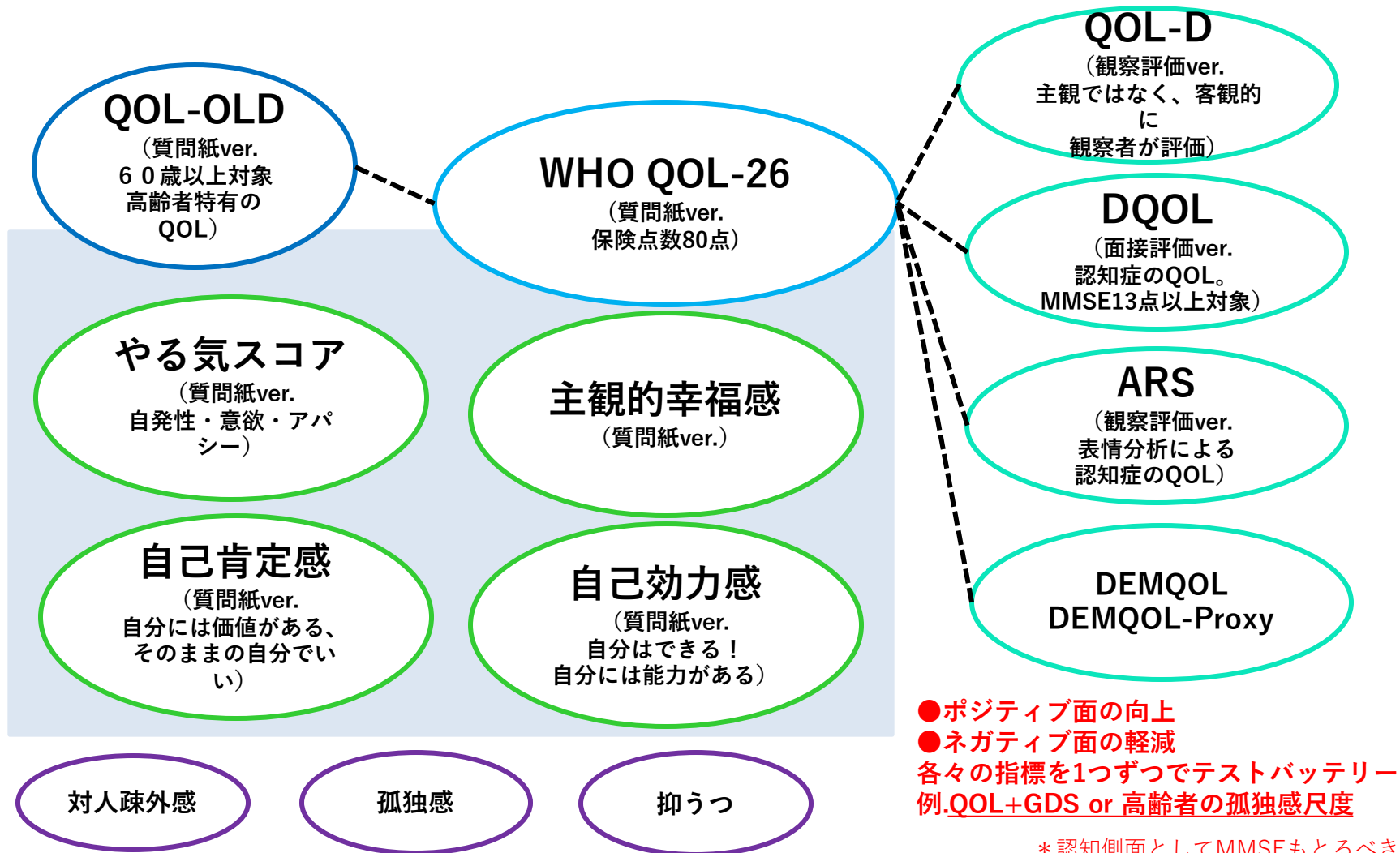
- ①交流: 世代間交流
- ②健康: フレイル及び物忘れ予防
- ③地域: 安心安全な外出

2023年4月～ 遊農くらぶ kick off

- 場所: 元ハッピーモア市場跡(宜野湾市)
- 対象: 北中城村、宜野湾市在住

遊農くらぶの効果 仮説

やる気、自己肯定感の向上など



* 認知側面としてMMSEもとるべき

か…

遊農くらぶ を支える仕組み

農を通して何かを期待して参加する者・・・農者:ファーマン

遊農者支援者=ファーマンサポーター

